

オリンピックのシンボルマーク

2021年05月31日

オリンピックのシンボルマークといえば、おなじみの5つの輪を組み合わせたマークですよ！

これは近代オリンピックの父、クーベルタン男爵がデザインし、1914年6月IOC創設20周年式典でお披露目したものです。

青、黄、黒、緑、赤の色は、地色の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができる、という理由で選びました。

いわれてみれば、ケニアの国旗は黒、緑、青で、カザフスタンの国旗は青、黄で構成されていますね！合わせるとちょうどオリンピックシンボルの5色です！

実際にこのシンボルがオリンピックに用いられたのは、1920年にベルギーで開催されたアントワープ大会からです。

オリンピックマークの五輪に使う色や輪の位置は、オリンピック憲章で定められています。

おなじみのオリンピックマークですが、さて、一番右は何色だったのでしょうか？



As you all know, the symbol mark of the Olympics is the combination of 5 rings.

The father of the modern Olympics, Baron Pierre de Coubertin, designed it and showed to public at the 20th anniversary ceremony of the IOC in June 1914.

The colors, blue, yellow, black, green, red and the ground color white, were chosen because we can draw most of the world's flags with these colors.

It was actually used for the Olympic Games from the 1920 Antwerp Games in Belgium.

The colors and positions of the rings used for the Olympic symbol are stipulated in the Olympic Charter.

The symbol mark of the Olympics is familiar to us now.

Can you tell what color is on the far right of the symbol mark?